

(機密性2)

## 「裁判員経験者の意見交換会」開催概要

日 時 令和3年10月21日(木) 午後3時から午後5時まで

場 所 前橋地方裁判所大会議室(本館5階)

参加者等

主催者 齊 藤 啓 昭(前橋地方裁判所長)

司会者 水 上 周(前橋地方裁判所刑事第1部総括判事)

裁判官 山 崎 威(前橋地方裁判所刑事第2部総括判事)

検察官 大久保 克 夫(前橋地方検察庁検事)

弁護士 牧 瀬 公 毅(群馬弁護士会所属)

裁判員経験者1番 40代男性(以下「経験者1」と略記)

裁判員経験者2番 50代男性(以下「経験者2」と略記)

裁判員経験者5番 40代女性(以下「経験者5」と略記)

裁判員経験者6番 50代男性(以下「経験者6」と略記)

### 1 裁判員に参加した全般的な感想

#### 経験者1

法廷で実際に被告人の姿を見た時から、責任感が沸いてきた。全然知識もなく不安もあったが、丁寧な説明を受けて、自分なりに全うできたと思う。

#### 経験者5

最初に最高裁判所から送付された冊子が、裁判員裁判の理解に役立った。裁判員と裁判官のチームとしてやっていくプロセスが興味深く、達成感があり、すごく勉強になった。

### 2 選任手続で裁判所に来るまでの間の不安や苦労

#### 経験者5

他の者に依頼しにくい仕事もあったが、呼出しを受けてから選任手

(機密性2)

続期日まで6週間あったので調整ができた。

仕事の調整がつかずに断念する人もいるのではないかと思った。

#### 経験者6

会社の理解があり、特別休暇を取ることができた。

### 3 当日の選任手続について

#### 経験者5

どういう人が個別質問を受けているのか、簡単なアナウンスがあっても良いのではないかと感じた。

#### 経験者1

集まっている人を見て、いろいろな人が選ばれているのだなと思った。コンピューターによる抽選と聞いて、偏るところはないのだなという印象であった。

### 4 冒頭陳述、証拠調べ、論告弁論を含め、公判手続は分かりやすかったか。

#### 経験者1

弁論が早口で、少し気を抜くと聞き逃してしまう感じであった。

#### 経験者2

専門用語は分からない。考えているとどんどん話が先に進んでしまう。一般の人でも、理解できるように工夫してほしい。

#### 経験者5

同じ事実や証拠でも、検察官の立場からの視点と弁護人の被告人を弁護する立場からの視点で、プレゼンテーションの質的な違いを感じた。

### 5 評議は、意見が言いやすい雰囲気であったか。分かりやすい進行だったか。裁判員の意見が反映されていると感じたか。

#### 経験者1

(機密性2)

とてもやりやすく細かに説明してくれた。何を見て、何を聞いていかなければならないのか、評議するたびに徐々に分かってきた。後半になって、より細かく自分の意見が言えるようになった。

#### 経験者 5

もっと裁判官が強クリードし、それに裁判員が従うと思っていたが、対等でありつつ、ヒントを出してもらえるなど評議がスムーズに行えるような配慮を感じた。

### 6 守秘義務について

#### 経験者 5

特別休暇をもらったので、勤務先に裁判員を務めた感想を報告した。今回いろいろな証拠を見聞し、日々自分たちが作成している文書なども、時には証拠として提出されることもあるということを考えていかなければならないと周りの人と話をした。

### 7 これから裁判員裁判に参加される方へのメッセージ

#### 経験者 1

責任、心構えは必要だが、構えすぎる必要はない。その都度理解していけばよい。いろいろな人が関わることで裁判の公平性がより保たれることになるので、参加できる環境があれば積極的に参加してほしい。

#### 経験者 2

機会が与えられれば積極的に参加してほしい。

#### 経験者 5

環境があれば積極的に参加した方がよい。視野が広がる。

#### 経験者 6

貴重な経験である。機会があれば参加してほしい。

以 上